

# 岩田国夫

Iwata Kunio

## 県政詳報

Prefectural administration detailed information

みなさまと共に安全で安心できるまちづくり

【21世紀】

2022年 新年号

〔発行所〕岩田国夫事務所

〒632-0033 奈良県天理市勾田町253-6  
TEL.0743-63-6220 FAX.0743-63-6628



# 年頭所感

奈良県議会議員 岩田国夫

新年明けましておめでとう  
ございます。天理市民の皆さま  
におかれましては、健やか  
に令和4年の輝かしい新春を  
お迎えのことと、心よりお慶  
び申し上げます。旧年中は皆  
さまに格別のご支援、ご指導  
を賜り、この場をお借りして  
深く御礼申し上げます。

の誇る文化に触れることがで  
きる施設です。日本で初めて  
となる文化財4分野の修復作  
業現場の公開や、国内外から  
招いたアーティストとの交流  
など、魅力ある施設にまた、  
地元のにぎわいをもたらす施  
設として、県議会からサポー  
トしていく所存です。

引き続き新型コロナウイルス  
の脅威にさいなまれた昨年  
は、まさに「我慢の1年」と  
なりました。延期された東京  
五輪が開催にこぎつけたもの  
の、同時期に感染はさらに拡  
大しました。県内では昨年11  
月末までに計約1万5000  
人が感染し、149人の方が  
お亡くなりになりました。こ  
こに謹んでお悔みと、心から  
のご冥福をお祈り申し上げま  
す。

末尾に私事になりますが、  
奈良新聞社による事実無根の  
記事に対する名誉棄損損害賠  
償請求の裁判は、一審でわた  
しが勝訴し、二審も相手方の  
主張を退け棄却。その後、昨  
年には最高裁が上告を退け、  
わたしが勝訴し、奈良新聞社  
が敗訴した判決が確定しまし  
た。長年、皆さまに大変、ご  
心配賜りましたこと、感謝申  
し上げます。

今年はいよいよ、天理市内  
初となる県立施設の「なら歴  
史芸術文化村」が3月21日に  
開村する予定で、現在工事が  
進められています。歴史、芸  
術、食と農をはじめ、奈良県

この令和4年が、新型コロナ  
ウイルスの終息を願い、ま  
たこれらの脅威から脱却する  
節目になることを願い、皆さ  
まのご健勝とご多幸を祈念申  
し上げ、年頭のご挨拶とさせ  
ていただきます。



# 県議会11月定例会 一般質問



市内初の県立施設「なら歴史芸術文化村」

## にぎわい創出への取り組み

効果的な運営と交通アクセス確保へ

わたしは、県議会11月定例会の一般質問に登壇し、今年3月21日に開村する天理市内初となる県立施設「なら歴史芸術文化村」の効果的な運営やアクセス環境などの課題、にぎわいを創出するための今後の取り組みについて荒井正吾知事の考えを聞きました。

荒井知事は、なら歴史芸術文化村の開村に向けて現在準備を進めているところとし、基本理念を▼来村者との交流を重視し、一人ひとりの感性や知識、関心に寄り添い自発的な学びを支援すること▼山の辺の道をはじめ、関連する地域を一体として捉えた広がりある地域振興策を展開すること▼取り組みの質の向上につながる多様な人脈を構築す

また、施設は道の駅に登録

創出していく方針です。

施設運営については、文化財修復団体や指定管理者などの全入居団体とホテル事業者で構成する運営協議会を中心に進めることとしています。すでに11月、第1回の会議を開催しており、今後も定期的に協議を重ね連携を深めていく予定です。

重要なお買い求めいただくこともできます。奈良の魅力が満喫できる楽しみやにぎわいを

新たなシャトルバスを運行予定で、奈良公園との接続など、集客力向上のための交通アクセスの確保についても検討していることを明らかに

### 新型コロナ第6波

## 民間病院の協力と医療体制強化を

なら歴史芸術文化村についての一般質問のほか、わたしは、新型コロナウイルスの第6波に備えた県の医療体制の強化への考え、ポストコロナを見据えた県の観光振興、経済活性化への取り組み、幼保一元化の推進について質問をしました。

わたしは、新型コロナの第6波を見据え、民間病院に

荒井知事は、奈良県では「重症者や死亡者を減らす」ことを、新型コロナウイルス感染症対策の最大の目標と考



え、感染者全員の入院と宿泊療養を基本に、医療提供体制の確保にこれまで全力で取り組んできた、と説明。

入院病床については、27の病院のご協力により、現在481床を確保している状況で、無症状や軽症の方にご利用いただく宿泊療養施設についても、ホテル事業者と地元のご協力により、現在9施設で1136室の確保・運用ができています。入院病床と宿泊療養室を合わせると、第5波のピーク時の総療養者数を上回る水準を維持している状況

民間病院には、公立・公的病院と同様に、新型コロナウイルスに感染された方の重症化を防ぐ効果があるとされている「抗体カクテル」の活用についても、投与の対象患者を受け入れていただくなど、新型コロナウイルスの治療に、ご協力をいただいているところ。

今後、感染者全員の入院・宿泊療養を基本に、民間病院にも様々な場面でご協力をいただきつつ、第6波に備え、全員参加で医療提供体制を強化していきたいと考えていると答弁されました。



ポストコロナ

# 観光、経済対策に力

奈良県は令和5（2023）年に日本で開催される、G7主要国首脳会合の関係閣僚会合の開催誘致を検討しています。わたしはこの誘致の実現を強く要望するとともに、県への観光客誘致をさらにアピールしていく必要性を説き、コロナ後の県内の観光振興、経済対策の取り組みについて、県の考えを質問しました。

奈良らしいコンベンション開催を国内外に提案し、今年6月には「ガストロノミーツーリズム世界フォーラム」が

開催されますが、それに続いて、G7主要国関係閣僚会合などの大規模な国際会議や、グレイドの高い会議の誘致に

## 奈良っ子はぐくみ基本方針

# 今年度策定

今後、ますます少子化が進んでいく中で、保育・就学前教育の在り方は、

中では、就学前教育の充実については、従来の幼保の縦割り制度を統合し、

称）奈良っ子はぐくみ基本方針」も今年度中に策定する予定で、

の方向に変わっていくべきと考えるが、県はどのように取り組んでいくのかを質問しました。また、

また県の就学前教育実践のガイドラインとして「（仮）

今後、引き続き市町村と連携をして、

問いました。 幼保一元化について荒井知事は、

▼多くの高齢者の方に健康づくりに取り組んでいただくこと

▼多くの高齢者の方に健康づくりに取り組んでいただくこと

## 持続可能な 制度運営へ

### 介護保険制度

介護保険制度について県は

今後、引き続き市町村と連携をして、



第49回衆院解散総選挙は、自民党総裁選に挑戦した県2区選出の高市早苗氏が候補を大差で退け、9選を果たしました。党要職の政務調査会長を務める高市氏は、選挙中全国の遊説などほとんど選挙区に入ることが叶わない中、天理市をはじめ2区の多くの皆さまにお支えをいただきました。

## 衆院解散総選挙で高市氏9選

# 選挙中、陣頭指揮の一翼担う

### 自民党奈良県連 衆院2区幹事長として

切られた午後8時に高市氏が早々に当選を決めました。わたしは「本人が不在の中で皆さま一人ひとりが頑張っていたこと、このような結果が得られたと思います。今日が一つのスタートになります。奈良県から初めて、また日本から初めての女性総理を出すべく、改めて結束をお願いします」とあいさつさせていただきました。

等身大の高市氏のパネルを囲んで万歳三唱し、その後、用意された大型のプロジェクターに高市氏のビデオメッセージが映し出されました。



# 虚偽報道 名誉棄損の裁判 勝訴



## 記者会見で経緯説明

### 「家族や孫にも精神的に大変な思い」

奈良新聞社（奈良市法華寺町）が発行する奈良新聞において計7回にわたり「黒い交際」などとして暴力団の元組長とわたしが交際しているとの虚偽の報道をしたことについて、わたしは同社を相手取り名誉棄損の裁判を起し、このたび勝訴しました。これを受けて経緯の説明など記者会見を開きました。また同社に対しては謝罪と訂正、再発防止を強く求めました。

記者会見でわたしは「事実無根の記事は自分だけではなく、家族や孫に精神的に大変な思いをさせた。本当に苦しかった。妻はまだこのことで通院している状況。奈良新聞には、この姿勢を改めてもらいたい。歯がゆい思いをしたがようやく終結したことに安堵している」と語らせてもらいました。

## 県議会2月定例会 一般質問

県議会2月定例会の一般質問でわたしは、県の電力自給率を向上させるために、県内に豊富に存在する木材を利用した木質バイオマス発電の推進を提案し、県の考えをたずねました。

県は地形が急峻であることなどから、林道を含む路網密度は全国平均を下回り、全国順位では41位と大変低い状況にあります。このため木材を容易に搬出できない所が多いのが

## 木質バイオマス発電の推進を提案

### 県の電力自給率の向上へ

現状であると指摘。脱炭素社会の構築に向け、木材を利用した木質バイオマス発電を推進するために森林内の道路網整備が必要ではないかと問いました。

県内における基幹的な林道は、約870キロメートル整備されており、現在、県営林道として、五條市及び天川村において延伸整備を進めるほか、市町村による林道整備への補助を行っている

道については、年間約60キロメートルほどの計画で整備を進めているところと説明がありました。

今後県は、市町村や森林組合、林業事業者との連携の強化を図りながら、災害に強く、持続的に森林資源を供給できる健全な森林づくりを目指し、その重要な基盤となる林道及び作業道の計画的かつ効率的な整備に取り組んでいく方針です。

# 天理市内安心の町づくり

### 福住町井之市

### 国道25号



地元のご協力を得て令和元年度から道路改良工事に取り組んできた井之市から一本松までの区間が完成し、昨年12月21日午後2時から共用が開始されました。

### 杉本町喜殿町

### 前栽幼稚園前から喜殿交差点までの天理環状線（通称・たちばな街道）



時間帯によっては自動車の交通量、歩行者量が多い交差点の安全性を高めるため、道路の拡幅工事を行う予定です。新年度より用地買収に入り、工事着手される予定です。

## 後援会のご案内

後援会のご入会と、皆さま方からのご意見  
ご要望をお待ちいたしております。

TEL 〇七四三(六三)六二二〇  
FAX 〇七四三(六三)六六二八